



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 カネ美食品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2669 URL http://www.kanemi-foods.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三輪 幸太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 伊藤 誠 TEL 052-879-6111  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	42,412	4.6	1,160	33.8	1,215	33.2	651	△2.3
25年3月期第2四半期	40,511	△0.8	866	△47.4	911	△47.6	666	14.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 665百万円 (139.3%) 25年3月期第2四半期 278百万円 (△63.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	65.40	—
25年3月期第2四半期	66.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	31,525	25,051	79.5	2,516.23
25年3月期	31,585	24,635	78.0	2,474.42

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 25,051百万円 25年3月期 24,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
26年3月期	—	25.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,213	3.7	2,343	13.5	2,402	11.5	1,312	29.5	131.86

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 本日公表の「非連結決算への移行及び平成26年3月期業績予想に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は、平成26年3月期第3四半期決算より「非連結会社」になることに伴い、平成26年3月期の業績予想を連結業績予想から個別業績予想へ移行しております。

3. 平成25年5月13日の公表時には記載されていない営業利益項目を追加しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	10,000,000株	25年3月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	44,196株	25年3月期	43,775株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	9,955,954株	25年3月期2Q	9,958,583株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続きを実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経営環境の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11
5. 主要な経営指標等の推移	12
(1) 主要な連結経営指標等の推移	12
(2) 主要な個別経営指標等の推移	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策の効果により輸出関連企業を中心とした企業収益が上向きとなるなど、景気の回復傾向は続いております。一方、電気料金や食料品の値上げ、消費税率の引き上げ、アメリカの財政状況などの景気下振れリスクもあり、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような経営環境の中、当社グループは、さらなる商品力・人材の強化を重点施策として、テナント事業、外販事業の垣根を越えて人材や商品戦略を共有することにより、他社との差別化を図り、企業全体の底上げに努めてまいりました。

当社グループ及び報告セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

#### ① 売上高（セグメント間の内部売上高を除く。）

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期間と比べ4.6%増収の424億12百万円となりました。

テナント事業においては、新たに総合惣菜店舗「ease deli（イーズデリ）」を1店舗、中京地区に洋風惣菜店舗「eashion」を2店舗出店するなど、計6店舗の新規出店を行いました。また、既存店舗では、売場展開や商品構成、販売方法などを練り直した店舗改装を積極的に実施し、そこで得た成果を他店舗へ展開していくことにより、テナント事業全体のレベルアップを図ってまいりました。

これらの結果、テナント事業の売上高は前年同期間と比べ、3.3%増収の207億61百万円となりました。

外販事業においては、テナント事業の洋風惣菜店舗で培ったノウハウを活かして開発した弁当「GOZEN deli」シリーズを発売するとともに、既存の弁当のラップレス化を推進するなど、味の追求はもとより見栄えや鮮度感を重視したおいしそうな商品づくりに注力してまいりました。

また、前第2四半期においてチルド対応工場への改築工事のため休止していた2工場のフル稼働や宅配関連の受注の増加などが売上高の増加に大きく寄与し、外販事業の売上高は前年同期間と比べ、5.8%増収の211億63百万円となりました。

#### ② 営業利益

当第2四半期連結会計期間の営業利益は、前年同期間と比べ33.8%増益の11億60百万円となりました。

テナント事業においては、新規出店や既存店舗の改装を実施することにより、売上高は順調に推移しましたが、原材料価格の高騰等により製造原価が増加し売上総利益率が低下したため、テナント事業のセグメント利益は前年同期間と比べ19.9%減益の8億38百万円となりました。

外販事業においては、チルド対応工場へ改築した2工場のフル稼働や宅配関連による売上高の増加が大きく影響している他、工場ごとの製造アイテムの組み換えによる効率化も寄与し、外販事業のセグメント利益は前年同期間と比べ増益の3億95百万円となりました。（前年同期間のセグメント利益は△1億82百万円）

#### ③ 経常利益

当第2四半期連結累計期間の経常利益は、上述の要因等により、前年同期間に比べ33.2%増益の12億15百万円となりました。

#### ④ 特別損失

当第2四半期連結累計期間において、減損損失41百万円を特別損失として計上しました。

#### ⑤ 四半期純利益

当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は、投資有価証券売却益が前年同期間の2億95百万円から5百万円に減少したことにより前年同期間と比べ2.3%減益の6億51百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ59百万円減少して、315億25百万円となりました。

この主な要因は、売掛金が2億98百万円減少した一方で、本社の移転に伴う設備投資や生産設備の更新及び増強等により有形固定資産が2億30百万円増加したことなどによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4億75百万円減少し、64億74百万円となりました。

この主な要因は、買掛金が2億83百万円、賞与引当金が66百万円、退職給付引当金が65百万円それぞれ減少したことなどによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4億15百万円増加し、250億51百万円となりました。

この主な要因は、四半期純利益により利益剰余金が6億51百万円増加した一方で配当金の支払額が2億48百万円あったことなどによります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前年同期間に比べ87百万円減少し、121億20百万円となりました。

### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、前年同期間に比べ6億26百万円多い10億93百万円となりました。

主な資金の増加要因は、売上債権の増減額4億42百万円とたな卸資産の増減額1億44百万円並びに法人税等の支払額が前年同期間に比べ77百万円減少したことであります。

また、主な資金の減少要因は、仕入債務の増減額が3億43百万円増加したことであります。

### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用した資金は、前年同期間に比べ40百万円多い7億26百万円となりました。

この主な要因は前年同期間において投資有価証券の売却による収入が8億47百万円、固定資産の売却による収入が13百万円あった一方で、固定資産の取得による支出が8億21百万円減少したことなどによります。

### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって使用した資金は、前年同期間に比べ6百万円少ない2億50百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当社の100%出資連結子会社である株式会社エスジーダイニングを平成25年10月1日付で吸収合併いたしました。

その結果、本日公表の「非連結決算への移行及び平成26年3月期業績予想に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は、平成26年3月期第3四半期決算より「非連結会社」になることに伴い、平成26年3月期の業績予想を連結業績予想から個別業績予想へ移行しております。

なお、株式会社エスジーダイニングの業績が当社の業績に及ぼす影響は軽微であるため、平成25年5月13日に公表いたしました「平成25年3月期 決算短信」に記載の平成26年3月期における個別業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,003,780	11,120,370
売掛金	4,206,217	3,907,828
有価証券	999,805	999,810
商品及び製品	20,364	12,143
仕掛品	163,634	117,423
原材料及び貯蔵品	510,158	432,820
繰延税金資産	400,919	410,661
その他	286,341	297,010
流動資産合計	17,591,223	17,298,068
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,480,575	4,862,841
機械装置及び運搬具（純額）	1,931,352	1,878,948
土地	4,509,825	4,509,825
建設仮勘定	155,200	43,806
その他（純額）	323,317	334,998
有形固定資産合計	11,400,271	11,630,420
無形固定資産	254,503	270,118
投資その他の資産		
投資有価証券	1,671,735	1,747,443
繰延税金資産	320,491	212,952
その他	347,390	366,763
投資その他の資産合計	2,339,617	2,327,159
固定資産合計	13,994,392	14,227,698
資産合計	31,585,615	31,525,767
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,669,311	2,386,068
未払法人税等	428,300	505,800
賞与引当金	807,700	741,600
役員賞与引当金	—	5,700
その他	2,627,673	2,474,709
流動負債合計	6,532,984	6,113,878
固定負債		
退職給付引当金	208,138	142,713
資産除去債務	43,869	72,387
長期未払金	131,509	117,001
その他	33,260	28,686
固定負債合計	416,776	360,787
負債合計	6,949,761	6,474,666

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002,262	2,002,262
資本剰余金	2,174,336	2,174,336
利益剰余金	20,126,862	20,529,080
自己株式	△125,920	△127,142
株主資本合計	24,177,541	24,578,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	458,312	472,564
その他の包括利益累計額合計	458,312	472,564
純資産合計	24,635,854	25,051,101
負債純資産合計	31,585,615	31,525,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	40,511,727	42,412,257
売上原価	35,530,337	36,744,483
売上総利益	4,981,389	5,667,774
販売費及び一般管理費	4,114,480	4,507,023
営業利益	866,909	1,160,751
営業外収益		
受取利息	2,054	2,002
受取配当金	16,044	24,399
負ののれん償却額	2,809	—
不動産賃貸料	7,470	7,486
補助金収入	5,655	4,949
その他	19,712	20,658
営業外収益合計	53,748	59,496
営業外費用		
不動産賃貸原価	4,801	4,748
災害による損失	1,380	—
消費税等差額	2,136	—
その他	351	289
営業外費用合計	8,670	5,037
経常利益	911,987	1,215,210
特別利益		
固定資産売却益	309	0
投資有価証券売却益	295,596	5,731
特別利益合計	295,905	5,732
特別損失		
固定資産除却損	42,066	26,991
減損損失	—	41,084
特別損失合計	42,066	68,075
税金等調整前四半期純利益	1,165,826	1,152,867
法人税、住民税及び事業税	391,524	465,972
法人税等調整額	107,317	35,770
法人税等合計	498,841	501,743
少数株主損益調整前四半期純利益	666,984	651,123
四半期純利益	666,984	651,123



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	666,984	651,123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△388,953	14,251
その他の包括利益合計	△388,953	14,251
四半期包括利益	278,030	665,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278,030	665,375

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,165,826	1,152,867
減価償却費	502,360	511,941
減損損失	—	41,084
負ののれん償却額	△2,809	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△245,300	△66,100
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,260	5,700
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	31,149	△65,424
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	△14,508
受取利息及び受取配当金	△18,099	△26,402
固定資産売却損益 (△は益)	△309	0
固定資産除却損	16,843	16,860
投資有価証券売却損益 (△は益)	△295,596	△5,731
売上債権の増減額 (△は増加)	△128,907	313,236
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,658	131,771
未収入金の増減額 (△は増加)	30,554	48,477
仕入債務の増減額 (△は減少)	60,361	△283,242
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△96,648	△74,015
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△12,698	△18,258
未払費用の増減額 (△は減少)	△50,265	△137,424
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△93,890	22,178
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	82,078	△91,884
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△4,574	△4,574
その他	△161	291
小計	915,995	1,456,841
利息及び配当金の受取額	18,072	26,424
法人税等の支払額	△467,424	△389,849
営業活動によるキャッシュ・フロー	466,643	1,093,415
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,519,609	△697,984
有形固定資産の売却による収入	13,847	157
投資有価証券の売却による収入	847,280	6,300
資産除去債務の履行による支出	△170	—
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△27,496	△35,144
投資活動によるキャッシュ・フロー	△686,148	△726,672
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△7,574	△1,222
配当金の支払額	△248,860	△248,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	△256,435	△250,148
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△475,940	116,594
現金及び現金同等物の期首残高	12,683,606	12,003,586
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,207,666	12,120,181

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	テナント 事業 (千円)	外販事業 (千円)	計 (千円)				
売上高							
外部顧客への 売上高	20,097,547	19,997,738	40,095,285	416,442	40,511,727	—	40,511,727
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	689,614	689,614	462,909	1,152,524	△1,152,524	—
計	20,097,547	20,687,352	40,784,899	879,352	41,664,252	△1,152,524	40,511,727
セグメント利益 又は損失(△)	1,047,097	△182,294	864,802	4,643	869,446	△2,537	866,909

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,537千円には、人事及び経理財務部門等の管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配分していない費用4,172千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	テナント 事業 (千円)	外販事業 (千円)	計 (千円)				
売上高							
外部顧客への 売上高	20,761,992	21,163,909	41,925,901	486,356	42,412,257	—	42,412,257
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	715,818	715,818	492,150	1,207,968	△1,207,968	—
計	20,761,992	21,879,727	42,641,720	978,506	43,620,226	△1,207,968	42,412,257
セグメント利益 又は損失(△)	838,234	395,047	1,233,282	△74,723	1,158,558	2,192	1,160,751

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,192千円は、セグメント間の内部取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

共通支配下の取引等

当社は、平成25年8月16日開催の取締役会における決議に基づき、平成25年10月1日付けで、当社の100%出資連結子会社である株式会社エスジーダイニングを吸収合併いたしました。

1. 結合当事企業の名称及びその事業の内容、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称並びにその他取引の概要に関する事項

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

① 結合当事企業

当社の100%出資連結子会社である株式会社エスジーダイニング

② 事業の内容

飲食店の経営及び魚介類の加工並びに販売

(2) 企業結合日

平成25年10月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社エスジーダイニングは解散いたしました。

(4) 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

株式会社エスジーダイニングは当社の100%出資連結子会社であり、回転寿司店舗等の運営や寿司種等の加工を行い、当社のテナント事業へ納品を行っております。

この度、当社はグループの意思決定の迅速化と業務効率の向上を図るため、株式会社エスジーダイニングを吸収合併いたしました。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を行います。

5. 主要な経営指標

(1) 主要な連結経営指標等の推移

回次	第43期 第2四半期 連結累計期間	第44期 第2四半期 連結累計期間	第43期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高（千円）	40,511,727	42,412,257	82,036,859
経常利益（千円）	911,987	1,215,210	2,191,829
四半期（当期）純利益（千円）	666,984	651,123	1,035,857
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	278,030	665,375	1,269,848
純資産額（千円）	23,895,834	25,051,101	24,635,854
総資産額（千円）	31,344,324	31,525,767	31,585,615
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	66.98	65.40	104.03
自己資本比率（%）	76.2	79.5	78.0
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	466,643	1,093,415	1,008,949
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△686,148	△726,672	△1,180,552
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△256,435	△250,148	△508,416
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	12,207,666	12,120,181	12,003,586

（注）売上高には、消費税等は含まれておりません。

(2) 主要な個別経営指標等の推移

回次	第43期 第2四半期 累計期間	第44期 第2四半期 累計期間	第43期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高 (千円)	40,095,285	41,925,901	81,145,052
経常利益 (千円)	905,222	1,286,427	2,153,568
四半期 (当期) 純利益 (千円)	663,743	697,843	1,013,419
純資産額 (千円)	23,627,481	24,810,270	24,348,303
総資産額 (千円)	30,832,545	31,132,628	31,079,812
1株当たり四半期 (当期) 純利益 金額 (円)	66.65	70.09	101.77
自己資本比率 (%)	76.6	79.7	78.3

(注) 売上高には消費税等は含まれておりません。